

令和3年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立吉和小学校	校長	藤井 弘之	生徒指導主事	大森 走
-----	-----------	----	-------	--------	------

取組事例名 『体育参観日』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	3	「協調性・他者肯定感」	1	「責任感・使命感」	2

取組のねらい

- 集団の規律と自主協調の態度を養う。
- 「開かれた学校づくり」と「地域の学校」の視点に立ち、信頼ある学校づくりを具現化する場とする。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『友達同士や他学年とのかかわり』
----------	-----------------------------

○ 10月16日(土)実施

- 1 徒競走(低・中・高に分かれて実施)



徒競走(低学年)



徒競走(中学年)

- 2 団体競技(低・中・高に分かれて実施)



ぐるぐるタイフーン(中学年)



明日天気になあれ(高学年)

- 3 団体演技(低・中・高に分かれて実施)



玉入れ(低学年)



ええじゃん SANSAN がり(高学年)

- 4 他学年の団体演技視聴(後日)
- 5 他学年へメッセージ(後日)

・6年生が様々な場面で活躍できる場を設定した。(応援団、会場準備、放送、競技補助等)



応援団の様子

・団体競技では、自分たちのチームが勝つためにどんな作戦が必要か、何に気を付けなければいけないかなど、児童同士が話し合う時間を設けた。

・他学年の団体演技を撮影し、各教室で視聴できるようにした。視聴後、児童一人一人が書いた感想を模造紙にまとめ、学年をまたいで伝え合う活動を取り入れた。

取組の成果と課題

【成果】児童同士が関わり合える場を設定したことで、児童の他者肯定感が高まった。
 【課題】「自分にはいいところがある」と自信をもって言える児童を増やすために、友達のいいところやがんばっていることを本人に直接伝えることができる活動を取り入れたり、相手を思いやった行動や言動を多くの人に紹介することができるような取組を行ったりする。

